

令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練（習志野第一病院） 報告書

実施日時：令和7年12月6日（土） 13時00分～14時30分

【目標1】 想定エリアに救護所を設置し、必要物品を確認する。また、救護所内のトリアージエリア・軽症者治療エリアも併せて確認する。

項目	詳細・課題
(1)設営場所の確保	○正面入口を入ってすぐ右側に受付ブースの設営とした。
(2)設営	○院内での設営のため、机・椅子・ホワイトボードのみを用いて受付ブースを開設した。
(3)トリアージエリアの確認	○受付後すぐにトリアージを行う。
(4)軽症者治療エリアの確認	○正面入口入って左側のスペースが緑患者の待機スペースと治療スペースとなる。

【目標2】 傷病者の来場を想定し、傷病者来院から受付トリアージを行う。緑は軽症者治療ブースで治療後帰宅とし、黄・赤は院内の治療エリアに搬送する手順や方法を確認する。

項目	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○想定される傷病について、トリアージを10例実施した。 ○カルテ、傷病者一覧の作成は手書きとなるため時間を要する。
(2)搬送手順の確認	①傷病者一覧を作成しトリアージ ②緑は処置ブースへ、黄・赤は院内受付（総合案内の場所）へ案内し院内搬送。 院内搬送ではカルテ、トリアージタグを持たせる。
(3)搬送に係る動線の確認	○全ての来院者は正面玄関を入って右手で受付をする。受付後は、 緑…トリアージタグをもって緑処置ブースへ移動。処置後はポプラ前出入口より帰宅とする。 黄…院内受付で受付をし、黄待機所へ搬送する。 赤…院内受付で受付をし、緑処置ブースは混雑が予想され赤患者を搬送する動線としてふさわしくないと考えられるため、黄待機所を通過して赤待機所へ搬送する。

【目標3】 院内災害対策本部及び市災害医療本部への救護所設置報告、及び定時報告等の情報伝達方法を確認する。

項目	詳細・課題
(1)情報伝達方法	○市受付と院内本部が近距離のため、基本的な情報伝達は直接（紙面及び口頭）とする。 ○伝達した情報の管理方法を今後検討していく必要がある。（情報の集約等）